

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	衛生害虫等啓発事業		事業番号	011-248	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	生活衛生センター 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	無 (事業の一部として、「堺市住居環境改善援助事業実施要綱」有り)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	出先機関 (生活衛生センター)			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	全市民	対象数	単位	
			817,441	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	業務内容を駆除防除型から啓発指導型へと転換を進め、市民が衛生害虫の生態や対処方法を理解し自主防除意識の高揚を促進することで、市民生活の安全安心の確保と快適な生活環境の創出に寄与する。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が主体となって取組む蚊の防除活動（以下、「地域実践活動」という。）の普及拡大 3～6月に自治会等の約600団体（対象世帯数約11万世帯）へ防除薬剤を配付→10月まで地域住民が月1回ペースで薬剤を投入し蚊の発生を抑制 ○ハチをはじめとする衛生害虫の相談について生態説明や対処方法などを指導啓発 年間約400件の現地を訪問、そのうちハチ類の相談が約70%を占める ○家庭で発生した虫の回収と同定（種族の特定）、その対処方法の説明 ○ネズミ駆除方法の相談、捕獲カゴの貸し出し、2月府内一斉でネズミ駆除強化月間 ○浸水害発生時の消毒作業、大規模水害発生時の消毒作業の応援協力に関する協定実施細目の協議 ○住居環境改善援助事業 ○「空家等対策の推進に関する特別措置法」に関する害虫発生の現地調査 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 大阪府ペストコントロール協会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	衛生害虫の相談件数に対する啓発件数の割合 (啓発件数/相談件数)	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	98	100	100	100
			実績値	99	99		
	達成率	101%	99%				
当該指標を選定した理由	市民からの相談に対して、害虫等の生態や防除方法を啓発することにより、市民の自主的な対応を推進する。						
目標値の設定根拠・算出方法	市民が自主的に害虫等に対処した実施数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	地域実践活動実施世帯数の状況	世帯	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	108,810	110,065	107,485	
			実績値	106,859	104,354		
達成率	98%	95%					
当該指標を選定した理由	蚊の発生により困っている地域住民からの申し込みにより、薬剤を提供し地域の自主的な蚊の防除活動を支援する。						
目標値の設定根拠・算出方法	地域実践活動実施世帯数に対して前年度比3パーセント増						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	衛生害虫等啓発事業	事業番号	011-248
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	15,500	15,192	15,861	20,330	21,962	
13 財源内訳	国支出金		0		0	
	府支出金		0		0	
	市債		0		0	
	その他 ()		0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	15,500	15,192	15,861	20,330	21,962
14 人件費 (b)	111,800	100,000	100,000	100,000	91,800	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	127,300	115,192	115,861	120,330	113,762	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R4	決算	4,568	4,568			R4	決算	212	212	
16 事業費内訳	消耗品費	R5	予算	4,893	4,893	通信運搬費	R5	予算	294	294	
		R4	決算	874	874		R4	決算	817	817	
	電気使用料	R5	予算	990	990	生活衛生センター清掃業務	R5	予算	820	820	
		R4	決算	314	314		R4	決算	492	492	
	水道使用料	R5	予算	310	310	生活衛生センター機械警備業務	R5	予算	726	726	
		R4	決算	143	143		R4	決算	242	242	
	施設等修繕料	R5	予算	0	0	生活衛生センター樹木維持管理業務	R5	予算	264	264	
		R4	決算	431	431		R4	決算	12,237	12,237	
	物品等修繕料	R5	予算	840	840	その他	R5	予算	12,825	12,825	
		R4	決算				R4	決算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 地域実践活動実施世帯数の状況	世帯	106,859	104,354
② 上記①にかかる年間経費	千円	33,140	32,254
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	310	309
備考 (算出についての説明等)		地域実践活動年間経費は人件費と消耗品費 (使用薬剤費) を合算した額。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生害虫に係る啓発・相談体制の組織力の維持強化を図ったことで相談件数が前年度より約2割減となった。 ・市民サービスの向上に向けた取り組みとして、蚊の防除薬剤の配付方法に一部郵送を取り入れたことで車両等のランニングコスト削減に努めた。 ・市民相談時において現地を訪問する際に、地域実践活動の薬剤のポスティング対象区域と突合せ、訪問区域と同時配付の調整を行うことで効率的な現地出動 (車両運行含む) に努めた。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>感染症の媒介源となるネズミや蚊をはじめ、生活不安をもたらすハチ類などの衛生害虫に関する市民相談業務において、速やかに生態の説明や自主的な対処ができるように指導啓発を行ったことで市民生活の安全・安心の確保に寄与した。</p>
----	--